



みみぶくだより

令和3年3月17日発行
第5号

冬の厳しい寒さが和らぎ、暖かい日差しが感じられる季節となりました。新型コロナウイルス感染症に大きく影響を受けた一年間。感染症に対する不安を抱えながらの日々は続いています。子どもたちの元気な声や笑い声は絶えることはありません。そんな子どもたちの学校生活をより充実したものにするために、福島校では集団補聴システムや視覚情報機器を活用しています。今回は、卒業証書授与式での活用についてご紹介します。

* ~ * * 情報保障～卒業証書授与式での機器の活用～ * * ~ *



- ①タッチスクリーンマイク → 幼稚部卒業生が「おわかれのことば」のときに首から下げて使います。
- ②ダイナマイク → マイクスタンドに固定して使います。
- ③パスアラウンドマイク → 専用スタンドに固定して使います。

※今年度新しく購入しました。集音距離が、手持ちモードで5～10cm。
マイクスタンドモードでは30～90cmと感度が上がります。

★①、②、③の機器は、話し手の声を直接補聴器に届けます。④デジマスターは、会場全体に聞きやすい音を届けるスピーカーです。

⑤電子黒板 → 式次第や話の内容を視覚情報として示します。

★子どもたちの視線の動きが最小限になるよう、視覚情報（電子黒板、手話通訳）が話し手からできるだけ離れないように配置しました。



連絡先 福島県立聴覚支援学校 福島校
地域支援センター「みみらんど ぶくしま」

TEL&FAX 024(531)5013

アドレス <https://fukushima-sd-fukushima.fcs.ed.jp>

